■ この事業について

○　大学間連携共同教育推進事業「ふくしまの未来を拓く『強い人材』づくり共同教育プログラム」について

この事業は少子化・人材流出等の影響で深刻な状況にある福島県において，県内の大学，短大，高専が単独では対応が困難な課題に対し，それら高等教育機関，及び企業・行政を含む地域のステークホルダーが連携して取り組むものです。５つのプロジェクトの具体的な目的とねらいについては，下表のとおりです。

プロジェクト名称	目的とねらい
Project 1 地域の産業諸機関との連携の下ですすめるモデル的教育プログラム	高度専門職業人ないし専門職業人養成を，地域の産業諸機関との連携の下ですすめるモデル的教育プログラムを開発し実施します。産官民学（地域産業界・地方自治体・地域住民・NPO 等・県内高等教育機関）連携を，研究や地域連携のみにとどめず教育課程に組み入れます。これにより，厳しい職業環境に耐える「強い人材」を養成します。
Project 2 逆境を逆手にとった「強い人材」の育成	震災及び原発事故によって生じた逆境を逆手にとり，復興過程に学生を参画させることで「強い人材」の育成に取り組みます。これにより，地元のステークホルダーが最も切望する「復興人材」を養成するとともに，来るべき大災害に有効に対処できるリーダーを全国に送り出すことができるようになります。
Project 3 大学生が発信する「入学前教育」	今回の災害によって大きなダメージを受けた県内の学校教育に，息の長い支援を行います。とりわけ高大連携を中心とした「入学前教育」に力を注ぎます。これにより，高い意欲と志をもった県内生徒の進学（とりわけ県内高等教育機関への進学）が促進されると同時に，本県の教育全体の復興に資することができるようになります。
Project 4 グローバル教育推進プログラム	世界中に「ふくしまの今」をアピールし国際化を進めます。原発事故によってマイナス・イメージが生まれている福島県から積極的な情報発信を行い，併せて留学生の学習環境を整備します。これにより，国際的スケールでの「風評被害」を払拭して地域全体の復興に資するだけでなく，国際的人材の供給にも貢献することができます。
Project 5 「開かれた内部質保証システム」のモデル開発	上記各プログラムを支える基盤として，「開かれた内部質保証システム」のモデル開発を行います。「地域」の期待を反映した学修成果の設定，初年次教育プログラムの開発，教員と事務職員が一体となった取組の高度化（ＦＤとＳＤの有機的な融合）を実現し，「教職協働の福島モデル」を構築します。これにより，大学連携の強みを生かした教職員人材ネットワークが生まれ，各高等教育機関の特質にもとづいた，確かな学力を保証する教育体制の強化を実現することができます。